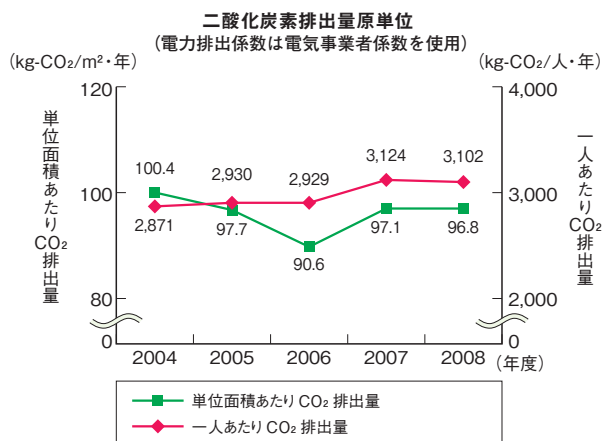
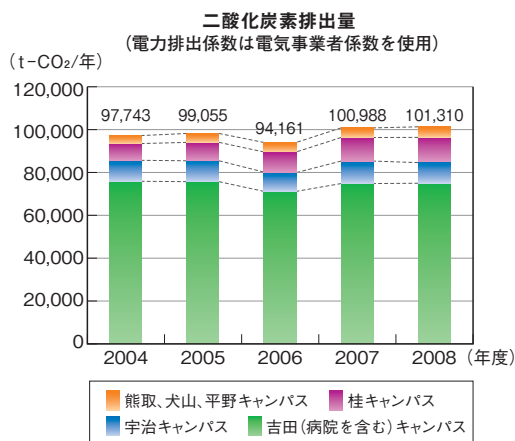


2008年度 京都大学の環境負荷

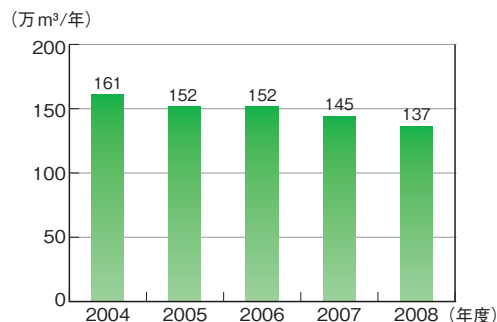
詳しくは詳細版28ページへ [HP](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/profile/environment/report/index.htm/) <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/profile/environment/report/index.htm/>

■ 二酸化炭素(CO₂) 排出量



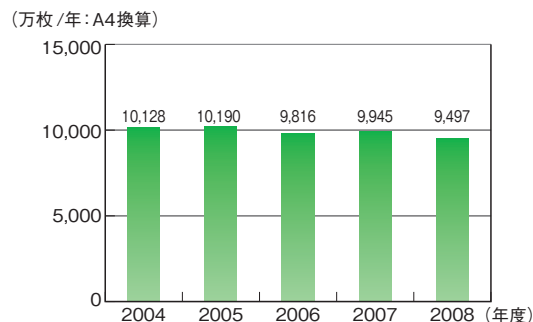
2008年度のCO₂排出量(総量)は101,310t-CO₂でした。前年度に比べると、総CO₂排出量は0.3%増加し、単位面積あたりのCO₂排出量は0.3%減少しました。増減傾向は部局や建物によって異なり、独自の省エネルギー対策や呼びかけなどによりCO₂排出量を削減できたところもあります。一方で、建物の新築や大型設備の増設が増加の要因と考えられます。環境賦課金制度による設備機器の更新や構成員の環境配慮行動による効果が現れるのは2009年度以降であり、その効果を検証していきます。

■ 水使用量



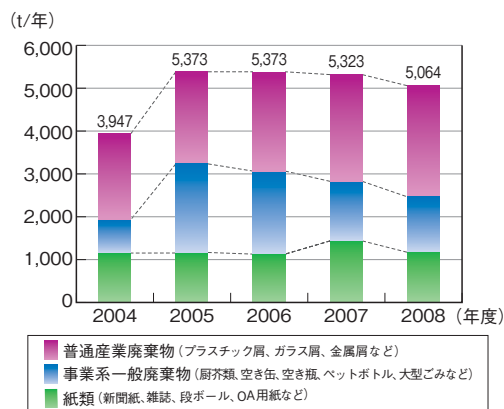
水使用量(総量)は137万m³でした。実験機器や建築設備の節水対策が進み、水使用量は減少傾向にあります。今後も適切な水資源管理を継続します。

■ コピー用紙購入量



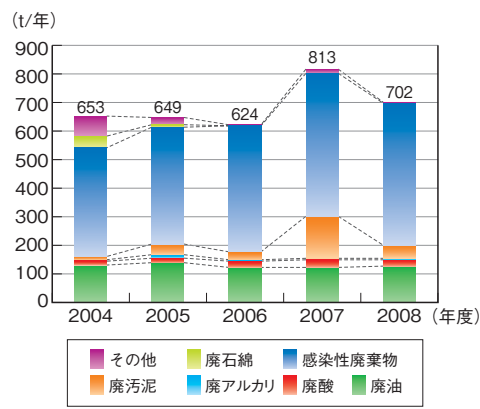
コピー用紙の購入量(総量)は9,497万枚でした。一人あたりの購入量は2,908枚でした。両面使用やペーパーレス化の取り組みをさらに推進し、今後も使用量の削減を図ります。

■ 生活系廃棄物排出量



生活系廃棄物の排出量(総量)は5,064tでした。紙類や容器包装の廃棄物が多いことから、レジ袋の使用削減やマイボトルシステムによる排出抑制への取り組みを進めているところです。

■ 実験系廃棄物排出量



実験系廃棄物の排出量(総量)は702tでした。主に病院から排出される感染性廃棄物が多くなっています。これらの廃棄物については、今後も安全で適切な処理処分を行っていきます。

■ データの集計範囲

- 対象期間：2004年4月～2009年3月
- キャンパス：吉田(病院を含む)、宇治、桂、熊取、犬山、平野の6キャンパス

- 構成員数：32,660人
- 床面積：1,046,230m²

※ここでは、過去のデータとの比較のため6キャンパスを集計範囲にしていますが、今回より全キャンパスのデータを集計しています。詳しくはホームページの環境負荷データ集を参照してください。